

【被害届】

被害者	保険者番号	後期高齢者医療被保険者証の保険者番号 ※被保険者証の3から始まる8桁の数字です。
	被保険者証記号番号	後期高齢者医療被保険者証の被保険者番号 ※被保険者証の0から始まる8桁の数字です。
	住所・電話番号・氏名・ 生年月日・職業	負傷した被害者の住所、電話番号、氏名、生年月日、 職業
	傷病名	事故による傷病名
	医療機関等	保険診療を受けた医療機関名、所在地、電話番号
	治療期間	医療機関ごとの受診状況（見込みを含む）
	人身傷害保険の有無	有る場合、その保険の名称と担当者名を記入してください。
事故発生日		事故発生日、発生場所 ※交通事故証明書で確認ください。
加害者	住所・電話番号・氏名・ 生年月日・職業	加害者の住所、電話番号、氏名、生年月日、職業
	使用者住所・電話番号・ 氏名・生年月日、職業	運転者が仕事中的とき、その使用者の住所、電話番号、 氏名（会社名や代表者名）、生年月日、職業
	保有者住所・氏名	事故を起こした車の保有者の住所、氏名
	自動車登録番号・車台 番号	加害者の自動車登録番号及び車台番号
	自賠責保険（共済）	加害者の自賠責保険会社名、所在地、自賠責保険の証明 書番号
	任意保険（共済）	加害者の加入する任意保険会社名、所在地、担当者名、 任意保険の証券番号
損害賠償に関する請求・支払 方法		支払方法に○をつけてください。
届出日 被保険者の住所及び氏名		届出日を記入してください。 本人が記入してください。本人が記入できないときは、 世帯主又は親族などが記入してください。

【事故発生状況報告書】

甲（加害者）	<p>相手車の運転者が通常は「甲」となりますが、同乗中に事故が発生した場合、運転者が「甲」となる場合もあります。</p> <p>車に同乗し、2台以上の車が衝突したときは「共同不法行為」となりますので、保険会社が任意一括しない場合、複数の加害者が存在するため、被害者「乙」一人に対して「事故発生状況報告書」は加害者ごとに必要になります。（被害届等も同様）</p>
乙（被害者）	<p>事故による負傷者が被害者「乙」になります。</p> <p>被保険者が追突した場合など、事故についての過失が大きくても、被保険者を「被害者」、相手を「加害者」とします。</p>
天候	交通事故発生時の天候、交通状況、明暗
道路状況	歩道及び中央線の有無、見通し及び坂の状況
信号又は標識	信号機の設置、駐車禁止その他の標識等の有無
速度	「甲」、「乙」の車の速度、制限速度
事故発生状況略図	<p>事故現場における加害者と被害車（者）との状況をできるだけ詳細に記入してください。</p> <p>道路状況、道路幅、センターラインの有無、横断歩道、場所を特定できる目印となるもの、車の進行方向など。</p>
詳細説明	事故発生に至った前後の被害車（者）、加害者の状況を時間の経過に沿ってわかりやすく説明してください。
過失割合	過失割合について、話し合いがされているときは記入してください。
報告者	<p>事故発生状況報告書は、事故当時者、保険会社等の担当者、保険者の担当者が当事者からの聞き取りで記入することも可能です。</p> <p>報告者と当事者との関係及び報告者の住所、氏名を記入してください。</p>

※交通事故証明書を添付してください。（写しも可）

【念書】

念書は被害者が記入します。

事故の発生日と発生場所、加害者名、被害者の順に記入してください。

届出日、住所、氏名を署名又は記名・押印してください。

念書記入日を記入してください。

※本人が書類に記入できない状態のときは、世帯主などが記入してください。

【誓約書】

誓約書は加害者が記入します。

事故発生日、発生場所、加害者名、被害者名の順に記入してください。

誓約書記入日を記入してください。

損害賠償金支払義務者は加害者が記入しますが、加害者が未成年のときは親権者が記入します。

保証人は加害者の任意保険会社が「任意一括」として処理するときは、損害保険会社の担当者の押印をもらってください。

「被害者請求」、「加害者請求」、「人身傷害」として自賠償保険へ請求されるときは、支払い能力のある同一世帯に属さない人を保証人としてください。

また、このときは、加害者及び保証人の印鑑証明書が必要です。